

国公立大学図書館協力委員会平成 28 年度活動報告
(上半期：平成 28 年 4 月～28 年 10 月、予定を含む)

I 委員会構成及び活動記録等

I-1 委員長館

平成 27 年 8 月 1 日～平成 28 年 7 月 31 日 慶應義塾大学
平成 28 年 8 月 1 日～平成 29 年 7 月 31 日 筑波大学

I-2 委員館 (*常任幹事館)

国立大学 *東京大学、*筑波大学、京都大学、名古屋大学
公立大学 *横浜市立大学、*大阪市立大学(～平成 28 年 7 月)、
*大阪府立大学(平成 28 年 8 月～)、首都大学東京
私立大学 *慶應義塾大学、*早稲田大学、東洋大学、学習院大学、
福岡大学、立命館大学

I-3 会議

1 本会議

1) 第 80 回国公立大学図書館協力委員会

期 日 平成 28 年 7 月 29 日 (金)
会 場 立命館大学衣笠キャンパス

2) 第 81 回国公立大学図書館協力委員会

期 日 平成 28 年 11 月 24 日 (木)【予定】
会 場 筑波大学東京キャンパス

2 常任幹事会関係

1) 平成 27 年度第 4 回常任幹事会担当者打ち合わせ

期 日 平成 28 年 6 月 27 日 (月)
会 場 慶應義塾大学三田キャンパス

2) 平成 27 年度第 2 回常任幹事会

期 日 平成 28 年 7 月 29 日 (金)
会 場 立命館大学衣笠キャンパス

3) 平成 28 年度第 1 回常任幹事会担当者打ち合わせ

期 日 平成 28 年 10 月 27 日 (木)
会 場 筑波大学東京キャンパス

4) 平成 28 年度第 1 回常任幹事会

期 日 平成 28 年 11 月 24 日 (木)【予定】
会 場 筑波大学東京キャンパス

3 大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議関係

1) 第12回大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議

期 日 平成28年7月19日(火)

会 場 国立情報学研究所

4 国立国会図書館関係

1) 国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会

期 日 平成28年11月24日(木)【予定】

会 場 国立国会図書館東京本館

5 著作権関係

1) 平成28年度第1回大学図書館著作権検討委員会・ワーキンググループ合同会議

期 日 平成28年6月21日(火)

会 場 慶應義塾大学

I-4 事業

1 大学図書館シンポジウム

テーマ 10年後の大学図書館を考える～オープンアクセス時代の大学図書館の新たな役割

期 日 平成28年11月10日(木) 13:00-17:00【予定】

会 場 パシフィコ横浜(第18回図書館総合展会場)

備 考 日本図書館協会大学図書館部会と共催

2 図書館総合展フォーラムへの協力

テーマ 残された紙の残された問題を解決する～館内コピー・ILL・デジタル変換～

期 日 平成28年11月8日(火) 13:00-14:30【予定】

会 場 パシフィコ横浜(第18回図書館総合展会場)

主 催 図書館総合展運営委員会

協 力 大学図書館著作権検討委員会

3 出版

1) 大学図書館協力ニュース

Vol.37 No.1～3 発行

2) 大学図書館研究

No.104 近刊

II 春季理事会(平成28年5月開催)以降の主要な事項

II-1 国公立大学図書館協力委員会関係

1 国際ILLタスクフォース関係

ISO プロトコルの変更に伴い、平成 29 年 7 月をもって現行の GIF の枠組みの下での日米間の ILL が停止する予定であるが、当該タスクフォースでは、代替手段として、平成 29 年 4 月から「エージェント方式」へ移行する提言をまとめ、複数の大学図書館が分担処理を行う「コミュニティーベース」による方式を検討している。

2 Web サイト構築タスクフォース関係

国公立大学図書館協力委員会 Web サイトの初期開発が終了し、試験運用を開始した。Web サイトのドメイン名は `julib.jp` とする。各協（議）会からのニュースと「大学図書館研究」の掲載を軸にコンテンツを整え、公開に向けた準備を進めている。

3 「大学図書館研究」のオープンアクセス化

平成 29 年 5 月以降、オープンアクセス誌として J-STAGE から公開する予定で作業を進めている。また、バックナンバーの電子的公開を促進するため、オプトアウト方式の採用等の検討を行っている。

4 出版者著作権管理機構（JCOPY）との「大学図書館間協力における資料複製に関する利用許諾契約」の終了

一般社団法人出版者著作権管理機構（JCOPY）より大学図書館著作権検討委員会に対して、平成 28 年 6 月 30 日をもって契約を終了する旨の通知があり、終了を受け入れた。今後、復活の可能性を探るとともに、新たな契約の検討を行っていく。

II-2 大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議関係

1 これからの学術情報システム構築検討委員会関係

「NACSIS-CAT/ILL の軽量化・合理化について（基本方針）（案）」が承認された。今後は、各大学図書館、国立国会図書館等関係機関、システムベンダーと方針案に基づき、具体的な検討を進める。

2 オープンアクセスリポジトリ推進協会の設立について

平成 28 年 7 月 27 日の設立総会において初代会長に早稲田大学、監事に立教大学、信州大学が選出された。当分の間、機関リポジトリ推進委員会をもって、協会の運営委員会に代えることが承認された。参加機関の正式申込を開始し、平成 29 年度からは会費徴収を開始する予定である。

3 SCOAP³ フェーズ 2（2017 年-2019 年）への対応について

平成 29 年から開始する SCOAP³ フェーズ 2 への対応として、今年 6 月に、大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議の下にタスクフォースを設置することが承認され、活動を開始している。国内各大学図書館に対し、7 月に参加依頼、9 月に参加意向調査の文書が送付された。

II-2 機関リポジトリ推進委員会関係

1 第 11 回機関リポジトリ推進委員会

期 日 平成 28 年 5 月 13 日 (金)
会 場 国立情報学研究所

Ⅱ－3 これからの学術情報システム構築検討委員会関係

1 第 14 回これからの学術情報システム構築検討委員会

期 日 平成 28 年 6 月 29 日 (水)
会 場 国立情報学研究所